

福島第一原子力発電所現地確認報告書

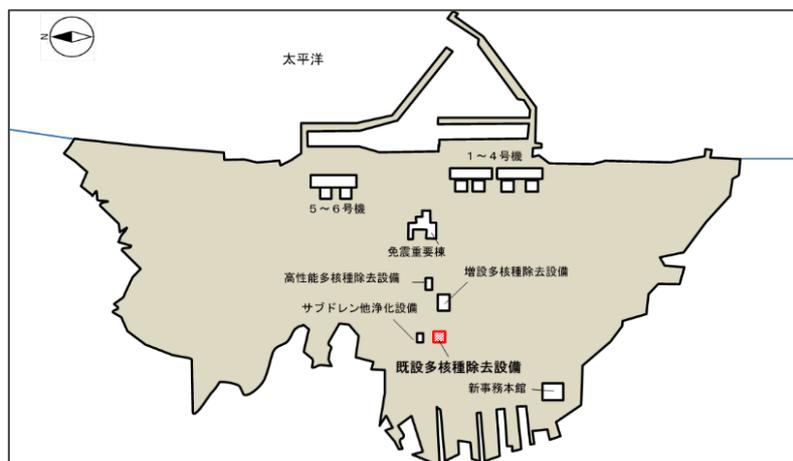
- 1 確認日
令和2年7月10日（金）
- 2 確認箇所
既設多核種除去設備
- 3 確認項目
既設多核種除去設備（C）クロスフローフィルタ2C二次側出口弁フランジ付近からの漏えい状況
- 4 確認結果の概要

7月9日10時27分頃に運転中の既設多核種除去設備（C）クロスフローフィルタ^{※1}2C二次側出口弁フランジ付近から水が漏えいしていることが確認されたことから状況を確認した。（図1）

なお、東京電力によると、漏えい範囲は約0.3m×0.1m×深さ1mmであり、当該設備を停止したことにより、同日10時44分に漏えいが停止したとのことである。なお、漏えい水は設備内の堰に留まっていることから外部への影響はない。

- ・現場確認時、周囲では作業は行われていなかった。また、漏えいも停止しており、漏えい水の拭き取りも完了していた。なお、漏えい箇所にはビニール袋による養生が施されていた。（写真1）
- ・東京電力によると、今後、漏えいの原因調査を行い、結果に応じて復旧方法を検討するとのことであった。

※1 クロスフローフィルタ：後段の吸着塔における放射性物質の吸着を阻害する物質を除去するために用いられているフィルタで、処理水をフィルタに対して並行に流すことにより除去する物質がフィルタに堆積する現象を抑制しながらろ過を行うもの。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
漏えい発生箇所周囲の状況①
(漏えい箇所は遮へい材内)



(写真1-2)
漏えい発生箇所周囲の状況②
(遮へい材内)



(写真1-3)
漏えい発生箇所の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。